

### 第 3 回 湯沢駅周辺複合施設整備基本計画策定市民会議 議 事 録

○日 時

令和 3 年 11 月 15 日(月) 15:00～

○場 所

湯沢市役所本庁舎 4 階 会議室 43・44

○出席者

委員出席者	その他出席者
湯沢市日本語教室：高橋 大匡 湯沢市立図書館協議会：中野 貴美子 湯沢市文化財保護審議会：清水川 隆 湯沢市自治組織連絡協議会：菊地 洋一 湯沢商工会議所：佐々木 慎 湯沢市観光物産協会：山脇 幹 湯沢市社会福祉協議会：戸部 真紀子 公募：半田 晋 公募：高橋 節子 湯沢市公共施設アドバイザー：川嶋 幸夫	
事務局	
湯沢市 総務部 部長：松田 和人 子ども未来課 課長：佐藤 美奈子 子ども未来課児童福祉班 班長：佐藤 洋一 子育て支援総合センター センター長：佐藤 孝子 生涯学習課 課長：高橋 秀明 文化財保護室 室長：高山 明 湯沢市生涯学習センター 所長：高橋 一志 生涯学習課社会教育班 班長：谷藤 真希子 湯沢図書館 館長：高山 見美子 企画課 課長：阿部 誠 企画課企画政策班 班長：小山 貢 企画課企画政策班 主査：阿部 大祐 企画課企画政策班 主査：佐々木 勝之	八千代エンジニアリング株式会社(以下、「八千代」) 関口 和正、八木 恒憲、内野弘章 W e b : 奥平 詠太

○配布資料

第 3 回 湯沢駅周辺複合施設整備基本計画策定市民会議 次第

資料 1 湯沢駅周辺複合施設整備 基本計画 (中間案)

資料 2 湯沢駅周辺複合施設整備 民間事業者の進出意向調査 (中間報告)

## ○議事録

### 1 開会

- ・司会より開会のあいさつ。

### 2 あいさつ

- ・川嶋会長よりあいさつ。

【川嶋会長】	本日は、基本計画（中間案）、民間事業者の進出意向調査の中間報告について事務局より説明があります。本市民会議は5月に発足し、7月に第2回会議を行って以降、これまでに事務局にて整理を行った内容の中間まとめとなっています。基本計画策定に向けて、計画内容の詰めの作業を行う段階になっていますので、本日は委員の皆様から忌憚のないご意見をいただければと思います。よろしくお願いいたします。
--------	--

### 3 議事

#### (1) 基本計画（中間案）、民間事業者の進出意向調査（中間報告）について

- ・事務局（市）より資料1、資料2の説明

【川嶋会長】	資料1及び資料2の内容について質問や意見はございますでしょうか。
【佐々木委員】	資料1の45ページ、図18に関して、事業対象地のエリア④の位置には、除雪車の格納庫があると思いますが、本事業においても格納庫を残す意向が市にあるのであれば、通路を確保するなどの土地利用方針を示す必要があるのではないのでしょうか。現在は格納庫の存在自体も図中に表現されていません。 また、市道消防署裏1号線あたりはクランクの道路になっていますが、市道新開地線までまっすぐへ延ばすなど、道路配置計画も早めに示していただければと思います。
【事務局】	平成27年度の駅前の環境整備事業が完了後に整備された除雪車の格納庫は、過疎対策事業債を借りて建設したものであるため、今すぐ撤去することは想定していません。民間施設の導入規模によっては、事業対象地内に格納庫があることが邪魔になることも想定されるので、民間事業者の意向次第で対応方針を決定していきたいと思います。 市道消防署裏1号線を市道新開地線まで延ばす案も市内部で検討中です。本事業で整備する機能に合わせて望ましい道路計画を検討したいと思っています。
【川嶋会長】	除雪車の格納庫があること自体は図18に示した方が良いと思われます。事業者の提案によって格納庫の取扱いが変わることもあるかもしれませんが、少なくとも基本計画の段階で存在自体は示しておく必要があると思います。
【高橋（大）委員】	本会議における委員の位置づけについてですが、前回の市民会議で導入・機能規模の要望を意見したものの、事務局より決定事項であるため反映が難しい

	との回答がありました。私たち委員の発言の取扱いについて事務局はいかがお考えでしょうか。
【事務局】	行政の立場として、これまで検討してきた基本計画案に対するご意見を委員の皆様からお聞きし、本計画に反映したいという思いはあります。ただし、本事業は湯沢市の財政にとっても大きな支出となることが想定され、財源の確保が必要であるため、それらの意見を全て計画に反映できるわけではないこともご承知いただきたいと思います。
【川嶋会長】	委員から頂いた意見のうち反映できないような意見があるのであれば、説明責任を果たす意味でも、なぜ反映できないのかの具体的な説明をするようにしてください。
【川嶋会長】	説明責任ということに関連して、第2回市民会議で意見として挙げられた、生涯学習機能の機能・規模の設定根拠について、事務局では資料1の56～57ページに整理されています。詳細な説明を事務局よりお願いします。
【事務局】	(資料1の56～57ページを説明。)
【川嶋会長】	生涯学習センターの規模設定については、既存の利用状況を踏まえ、さらなる市民ニーズに対応できるだけのボリューム感で設定しているとのこと。図書館の蔵書数に対する規模の設定根拠についてはいかがでしょうか。
【事務局】	現在本事業において想定している蔵書冊数16万冊の設定は、これまでの受入冊数と除籍冊数の増減を踏まえ推移を検討した結果、2066年度に到達する計算となっており、複合施設が竣工してから40年間はゆとりをもった配架とすることができます。収蔵冊数の20万冊に到達するのは2106年度となり、複合施設建設後60年が経過しているため、その時期には施設の建替え等も視野に検討することになると思われま。
【川嶋会長】	湯沢市では人口減少も進んでおり、また将来的に蔵書数も減っていくことも想定されます。現時点では少なくとも複合施設建設40年後までの蔵書増減を想定した上で蔵書冊数16万冊を設定されているということ。その他の委員でご意見はございますでしょうか。
【半田委員】	民間事業者参入意向調査の対象企業は大手企業が基本となっているということでしょうか。地元企業からのテナントとしての参入意向などについて聴取することは想定していないのでしょうか。
【事務局】	大手企業を主に対象としています。地元企業からは事務局あてに電話連絡が2件ほどありましたが、具体的な案や条件等はまだ挙がっていません。今後は、年内に商工団体との意見交換会の機会を設け、本事業対象地で商売をやりたいと考える地元企業がいるかを聴取する方法も確認したいと思っています。
【半田委員】	商工団体への案内だけでは地元企業まで伝わりにくいことが想定されます。地元企業に伝わりやすいよう全力的に宣伝してほしいと思います。
【事務局】	一斉送信で商工団体の会員に送付できればよいと思いますが、団体の会員数も多いので、宣伝方法は商工団体との意見交換会で確認する予定です。

【川嶋会長】	6月に行われた地元企業への事業説明会の概要について事務局より説明してください。
【事務局】	PPP/PFI手法のスキーム検討も含めた本事業の概要に対して地元企業にも理解してもらい、参入可能性を検討してもらうことを趣旨として説明会を開催し、50社ほどの事業者に参加してもらいましたが、事務局側の開催意図とずれて参加されている地元企業も多く、説明会で得られた意見は駅前を含めたまちづくりのビジョンに対するものがほとんどとなってしまいました。それらの反省も踏まえ、年内に商工団体と意見交換を行う際は、参加意欲の把握に力点を置きたいと考えています。
【中野委員】	<p>資料1の内容について気になった点をお伝えします。</p> <p>事例調査について、事務局は各事例先を視察したことがあるのでしょうか。室蘭市の事例は、人口規模が湯沢市の2倍以上の自治体であるため参考にならないのではないのでしょうか。その他の2事例に関しては私も伺ったことがありますが、それぞれ特徴的な機能を有している施設のように思います。一方で、本事業では基本理念としてにぎわい拠点施設の整備とされていますが、にぎわいを創出することに対して導入する公共機能の機能・規模が本当に妥当であるのかが気になりました。</p> <p>既存の生涯学習センターにあるロビーを懐かしく思いながら基本計画の写真を拝見していました。</p> <p>図書館機能に関して言えば、既存施設の開架書架に比べて倍以上の図書を開架することですが、利用者の意見として、高い本棚が苦手とする意見もあるかと思えます。本棚を高くしてゆとりがなくなるのはどうかと思えます。滝沢市の事例にある図書館では、バリアフリーとは程遠く、書架の間隔が狭いと感じます。</p> <p>子育て支援機能に関して言えば、その他の複合する機能と開館時間が異なると思われそうです。子育て支援機能の利用者は子育て世代だけを対象とすることで良いのでしょうか。</p> <p>歴史資料展示機能に関して言えば、収蔵室の温湿度を管理するとなっていますが、横手市の増田まんが美術館のようなレベル感での資料保存ということであれば、重要資料の保存方法として適正なのか不安です。</p> <p>また、近年、社会的にアドレスホッパーやノマドワーカーといった人たちも増えてきているが、それらの人々に対応できるスペースとして市民活動スペースを整備することができるのでしょうか。高校では、図書館にハブスペースを隣接させる事例もあるようです。小中学生のためにも、それらの考え方も取り入れてみてはいかがでしょうか。</p>
【事務局】	<p>生涯学習機能の場合、利用者数が既存施設に比べて増えた場合でも対応できるような規模設定としています。合計660㎡の諸室は生涯学習機能で専有するわけではなく、その他の機能も利用できるような運営とする想定です。1階のロビー付近にオープンスペースとして整備する市民活動スペースの利用も含めれば、かなりの利用者の会議利用にも対応できると想定しています。</p> <p>図書館については、東根市の事例における図書館のように本棚は低い事例もあります。開架と閉架のバランスも考えながら、利用しやすい書架配置としたいと考えています。</p>

	<p>子育て支援機能については、本事業で整備するその他の機能と開館時間が異なると思いますが、セキュリティ面に配慮し、また、管理運営を包括委託した場合には民間事業者の提案も踏まえ、開館時間の設定や配置計画等を考えていきます。</p> <p>歴史資料展示機能の収蔵室では、湯沢市内のすべての資料を保存するわけではなく、貴重な資料を保存する想定であり、周辺の施設を活用していきたいと考えています。</p> <p>市民活動スペースについては、市民活動できるフリースペースと仕事などができるよう、印刷機などもあわせて個室としてコワーキングスペースも整備したいと考えています。</p>
【事務局】	<p>現在、基本計画には、一般開架室は5段（高さ180cm）、児童開架室は4段（高さ150cm）の本棚を想定した記載していますが、実際整備する際には、壁に接する本棚は段数を制限せず、フロア部分の本棚は1段ずつ低くする可能性があります。</p>
【川嶋会長】	<p>バリアフリーに配慮した書架配置とするよう、事務局は今後ともご検討ください。</p>
【事務局】	<p>子育て支援機能では、生涯学習機能の会議室や図書館の児童閲覧室を活用し、子育て世代とその他の世代が交流する事業を実施することを想定しています。子育て支援機能内の諸室で行う事業に関しては、小学校低学年までの児童を対象にしたいと思います。</p>
【中野委員】	<p>理解しました。</p>
【高橋（大）委員】	<p>倉庫や収蔵室などのバックヤードの規模が小さいと感じます。バックヤードが狭いと、各機能における活動を支援できないのではないのでしょうか。</p>
【事務局】	<p>歴史資料展示機能の収蔵室では、現在収蔵している資料が最低限劣化しないような規模にしたいと考えています。湯沢市内の全ての収蔵物を複合施設に収蔵する想定はしていませんが、70㎡の収蔵室の中で重要資料は保存していきたいと考えています。</p>
【川嶋会長】	<p>どういう資料をどの程度収蔵するのか、その他の収蔵物は湯沢市内のどの施設に保存するのかを現在説明することはできるでしょうか。</p>
【事務局】	<p>佐竹南家の資料や漆器類などの適切な温湿度下で管理しなければならない脆弱な資料は収蔵室に保存する予定ですが、脆弱な資料以外の酒造用具や農耕用資料などは、湯沢市内の工場跡地などに保存する想定です。現在も散在している資料を少しずつ集めるよう動いている状況です。</p>
【川嶋会長】	<p>次回の市民会議までに収蔵室で保存する資料等の収蔵物に関するリストを示していただきたいと思います。また、収蔵室の温湿度管理のイメージについても説明できるよう整理しておいてください。</p> <p>また、各公共機能について、既存施設に付属する倉庫が合計で何㎡程度あるのか、また、複合施設で整備予定の倉庫規模であればどの程度の備品類を収蔵できるかを説明できるように整理してください。</p>

【高橋（大）委員】	歴史資料展示機能などがあるため、複合施設には外国人が訪れることも想定されます。外国人への対応、にぎわい創出への関連について、なにか事務局のご想定はございますか。
【事務局】	本事業で整備する複合施設は市民を対象にしたサービスの提供を想定しています。外国人の利用に対する具体的な対応方法について、現時点で特に想定はしていません。
【川嶋会長】	産業・観光振興の観点から、市外、県外、国外から来た人たちに対してどのようなサービスをどの公共機能（所管課）で対応するのかについて、今後、管理運営方法を検討する中で併せて検討していただければと思います。
【中野委員】	<p>資料1の46～47ページについて、気候（冬季の豪雪時）への対応の観点から、駐車場から建物へのアプローチとして屋根付きの歩道があればいいと思います。</p> <p>誰もが安心して利用できるという観点として、不特定多数の利用が想定されるため、防犯の視点を取り入れてほしいと思います。</p> <p>建物周辺の外構部分についても緑地を整備するなどの視点を取り入れてほしいと思います。子育て世代の意見として湯沢市には公園が少ないという意見もあるため、大型遊具がなくても小山がある程度で良いので、まちなかで自然を感じられるよう、事業対象地に整備してもよいのではないのでしょうか。雪を感じられるようなコンテンツも複合施設に取り入れてほしいと思います。</p> <p>働く人たちが生き生きと働ける施設であれば、人も集まってくると思います。バックヤードの充実さも含め、そこで人が働きたいという気持ちになるような施設として欲しいと思います。</p>
【事務局】	1点目の駐車場から建物へのアプローチ、2点目の防犯の視点については今後基本計画へ反映していきたいと思います。3点目の外構部分については、導入する民間施設の規模・配置なども関係してくるため、どのような形で整備できるかは分かりませんが、大型遊具でなくても小山、芝生があるだけで市民が集まってくることも想定されますので、検討していきたいと思います。4点目の働く人々が生き生きと働ける施設となるように、こちらについても今後計画を詰めていきたいと思います。
【高橋（節）委員】	資料1の46ページ、図19では国道から事業対象地への進入は原則不可となっていますが、資料2において民間事業者の意見では国道沿いであれば民間の誘致の可能性があるとの回答があります。事業対象地の正面はどのようになるのでしょうか。
【事務局】	資料1では駅前のロータリーを經由して事業対象地にアクセスすることとなっていますが、確かに事業者からは国道側に民間施設を整備したい意向も見られます。公共施設の配置も含めて、国道から事業対象地への進入も今後検討していきたいと思います。
【高橋（節）委員】	<p>信号を渡らずにビフレ周辺で国道を横断する歩行者がいるので、歩行者の安全性も含めて計画内容を検討していただきたいと思います。</p> <p>また、事業対象地は西日が強いので、暑いとか、図書の日焼けなどの弊害があると思うので、西日に配慮した上で施設計画をしていただければと思います。</p>

	す。
【山脇委員】	<p>配置計画などの図面を提供していただければ、委員として意見ができ、外構計画等の不安も解消されるのではないかと思います。</p> <p>資料1の45ページ、図18を見ると、エリア1とエリア2はそれぞれ1,500㎡程度であり、この位置に複合施設を整備した場合、複合施設は高層階になることも想定されます。施設計画においてどの機能が何階に配置されるかによって、また委員から意見が出ると思うので、第4回市民会議で示していただきたいと思います。</p>
【事務局】	<p>現段階で施設計画を提供できる状況ではありません。どの機能を何階に配置したいかについては庁内で検討中ではありますが、PPP・PFI事業として進めていく場合、各機能の配置についても民間事業者の提案に任せることも考えられるため、第4回市民会議で示すとしても、あくまで事務局の1案であるご理解ください。</p>
【川嶋会長】	<p>資料1の54ページ、図25にある通り、民間施設の規模によって、公共施設との合築となるか、分棟になるかも決まっていない状況です。1月に予定されている民間事業者への進出意向調査を踏まえ、民間施設の機能・規模がある程度明確になった段階で、施設計画が第4回市民会議までに間に合うようであれば、事務局よりお示しください。</p>
【清水川委員】	<p>市民の意見を最大公約数的に基本計画としてまとめているような印象です。湯沢市で特化している部分により他自治体の施設との差別化を図っていきたいと感じます。本事業はある意味、産業振興につながるような施設になると考えています。</p> <p>また、本事業対象地にイベントができるような広場があると、市民の参加が促進され、にぎわいの活性化になると考えます。</p>
【事務局】	<p>イベントの実施会場になりうる広場・外構の整備を検討していきたいと考えています。</p>
【川嶋会長】	<p>第2回市民会議では、夢のある施設となってほしいという意見が委員の方々から挙がりました。本事業で整備する生涯学習機能、図書館機能、子育て支援機能はどの自治体でも必要不可欠な機能であることは分かりますが、その中でどうやって湯沢らしさを表出させることができるかを検討していく必要があると思います。</p> <p>事務局だけでなく市民からも、湯沢らしさを生かした事業の企画をしていく必要があると思います。管理運営の包括委託は民間事業者に任せるとしても、企画立案においては、市民の意見を反映できるような組織を行政が作るなど、行政だけでなく、民間事業者、市民の意見を合わせていくことに力を入れ、ソフト面で夢を実現していくことが良いのではないのでしょうか。</p>
【戸部委員】	<p>外国人を想定していないという点について、福祉の立場としては、障がい者も含めて誰もが利用しやすい施設となると良いと思います。</p> <p>素晴らしい施設になることもよいですが、将来世代の借金になることも避けなければならないと思いますので、限りある財源のなかでよりよい事業が成立できれば良いと思います。</p>

【事務局】	外国人への対応を含め、バリアフリー対応の施設とすることは当然のことと理解していますので、今後基本計画に盛り込んでいきたいと思ひます。
【川嶋会長】	4,200㎡を整備するとなると、施設整備費の概算で50億円程度がかかると想定されるのではないかと思ひます。補助金や起債を適用したとしても20億円近くを市が借金することになり、将来世代への負担にもつながります。財源の確保も視野に入れながら適正な規模を検討していく必要があります。既存施設だけでも年間1.5億円の人件費がかかっているような状況です。将来世代に借金を残さないような施設の在り方、管理運営方法も検討していくことが必要と思われまひす。その中で民間事業者のノウハウ・経営能力を活用したスキームの検討をしていければと思ひます。
【菊地委員】	本事業は基本理念に沿った中身にしないといけなひと思ひます。本日の中間案の計画段階では、まだそこまで到達していないように感じまひす。 市民会議での議事内容については議事録に示し、基本計画へ反映しておいてほしいと思ひます。
【事務局】	基本理念に沿った事業内容となるように、今後も検討を詰めていきたいと考えています。 議事録等についても湯沢市のホームページで公表し、市民の皆様に見ていただけるようにしたいと思ひます。
【川嶋会長】	残り1回しか市民会議はありませんので、事務局は本日委員の皆様から出た意見をしっかりと反映していただければと思ひます。 議事については以上です。本日はありがとうございました。

#### 4 その他

【事務局】	川嶋会長には議事進行いただきありがとうございました。 第4回市民会議については、当初開催予定時期から2月下旬に前倒しし、基本計画の最終案を主に提示する予定としています。具体的に日程が定まった段階で改めてご案内いたします。
-------	---

#### 5 閉会

- ・事務局より、閉会のあいさつ。

以上